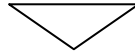


## 総合戦略の取組視点について

### <総合戦略策定の考え方>

西東京市の人口減少の構造的要因の克服を目的として、第 2 次総合計画のまちづくりの方向のうち、国の示す政策分野と対応する「みんなでつくるまちづくり」、「創造性の育つまちづくり」、「笑顔で暮らすまちづくり」、「活力と魅力あるまちづくり」について、早期実現を図る戦略プランを推進する。



### 取組視点 1 働く場づくりとして、地域産業を活性化する

<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・市内事業所数が減少する傾向を示しており、地域の特徴を活かした産業の活性化が必要。</li><li>・女性就労の M 字カーブの谷が深く、市内就労の希望が想定される（特に、小学生を持つ家庭）。</li><li>・起業への関心は約 3 割で、特に自営業等の方の関心が高く、「地域の課題・ニーズに関する情報提供」や「資金調達に関する情報」に関する情報を求めている。</li></ul>
<b>検討すべき対策</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・就労を希望する女性が働ける職場や環境をいかにつくっていくか。</li><li>・若い世代にとって魅力ある産業をいかにつくっていくか。</li><li>・地域課題を解決する事業創造をいかに支援していくか。 等</li></ul>

### 取組視点 2 定住者、交流人口の増加のために、まちの魅力を高める

<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・都心と比べてみどりが多く残され、東大生態調和農学機構や多摩六都科学館、下野谷遺跡から、農産物、マスコットキャラクター等の地域資源を持つが、その魅力を十分にアピールできていない。</li><li>・市民が感じているアクセスの利便性とまちなかの自然を兼ね備える都市との認識が、市民外では認知されていない可能性がある。</li></ul>
<b>検討すべき対策</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・市内のどの地域資源を活用して、いかに地域の魅力（西東京ブランド）を向上していくか。</li><li>・どのような人々にどのような情報手段、どのような機会をもって魅力を発信していくか。 等</li></ul>

### 取組視点3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・若い世代および年少人口が減少・流出する中で、地域の次世代を担う層の出生率向上、転出抑制が必要。</li><li>・市民の結婚意向や今後の子どもを持つ意向は高く、「自宅から近い勤め先」や「保育サービスの充実」を求めている。</li><li>・本市は大方のライフステージで住む場所と捉えられているが、若い世代は、結婚時に23区への居住意向が高い。</li></ul>
<b>検討すべき対策</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・若い世代で結婚や妊娠・出産を希望する人をいかに支援していくか。</li><li>・子育てしやすい環境、また子育てしながら働ける環境をいかにつくっていくか。 等</li></ul>

### 取組視点4 少子高齢化社会に合った地域をつくり、安全な暮らしを守る

<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自治会・町内会活動の衰退により、地域の共助の機能・しくみが弱体化する一方で、地域福祉や子どもの見守り、防犯・防災等、地域課題は多様化し、地域コミュニティの再構築が必要。</li><li>・地区別に異なる少子高齢化への対応するための行政サービスのあり方の検討が必要。</li><li>・生活環境の住み心地への満足度は30～50歳代で低い。</li></ul>
<b>検討すべき対策</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地区別に異なる行政サービスの需給バランス不均衡をいかに調整していくか。 等</li></ul>